

地域学校協働活動 & コミュニティ・スクール だより

32号は、8月25日に開催しました「地域コーディネーター研修会（甘日市市地域学校協働会議）」の内容をお伝えいたします。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を進めるため、今年度は、各校での熟議を、学校の教育課題の共有や解決のための手段に位置づけ、「社会に開かれた教育課程」づくりを進めることを皆様をお願いしているところです。そのためには地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの役割も重要であり、協働活動と教育課程を関連付けることを地域、学校両者で創っていくことが必要です。そこで、このたびの「地域コーディネーター研修」は、昨年のCS研修会に続いて、岡山県教育庁生涯学習課の地域学校協働活動アドバイザーで、CSアドバイザーでもある安田隆人先生においていただき講演とワークショップを行っていただきました。

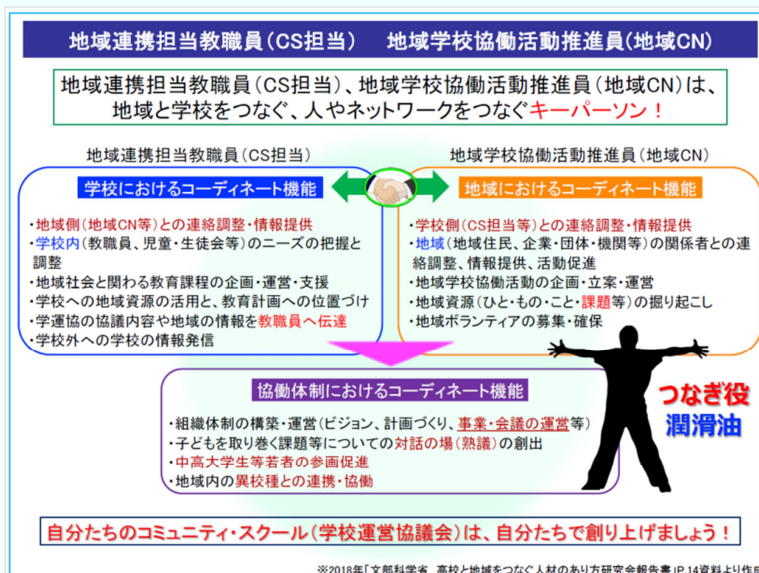


講演「地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働していくために期待される地域コーディネーターの役割」

講演では、先生が勤務されていた鴨方東小学校と、寄島小学校の実践をもとに大きく2つの話がありました。

1つ目は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を進めるときに必要な地域コーディネーターと学校の地域連携担当教員の重要な役割についてです。

子どもを取り巻く学校や地域の課題を解決していくための仕組みがコミュニティ・スクールであり、学校運営協議会で様々な話し合いがされています。その話し合いの中から、授業等の教育活動や行事をやってみようとなったときに、学校、地域それぞれの窓口となる地域連携担当教員の先生と地域コーディネーターの方々の連携が重要になります。地域コーディネーターの方々は、学校側との連絡調整だけでなく学校のニーズを把握しながら教育計画の中に地域との関わりの部分を具体的にするため、地域の関係者、ボランティアさんや企業の方々との連携も必要になってきます。このように地域コーディネーターは学校と地域、地域のネットワークをつなぐ潤滑油としての役割があります。



2つ目は、地域・保護者と連携協働した学校における働き方改革への関わりについてです。

学校の業務改善を進めるに当たって大切な考え方は、これを進めることで先生が元気になって、子どもと向き合う時間が増える等で、教育の質の向上に繋がるといことです。そして常に、「どんな子どもを育てたいのか」「学校・家庭・地域の課題は何か」ということを共通理解することです。

鴨方東小学校では、「どんな子どもを育てたいのか」「学校・家庭・地域の課題は何か」というテーマでの熟議を通して学校の働き方改革が必要であるという共通理解をし、業務内容の棚卸しを校内で進めたり、職員室の機能的なレイアウトを企業と連携して進めたりしました。地域学校協働活動として、読み聞かせや授業の実習支援、放課後学習や安全パトロールそして、通

学合宿や子ども食堂、赤ちゃん登校日等の活動を行っています。授業支援や行事への参画、登下校見守りも学校職員の業務改善につながっています。地域コーディネーターの方々が調整し実現している授業支援等で、地域の方が日常的に学校へ来ることや一緒に教育活動をつくって児童の学びを支えることが「社会に開かれた教育課程」の実現に近づくだけでなく、保護者・地域と信頼関係の構築や生徒指導上の問題への未然防止という効果も期待できます。

何より、地域学校協働活動で子どもは多様な大人と出会い一緒に学ぶことで、自分の意思や行動が高まり、今度は次の世代の子どもたちに手を差し伸べることに育っていくということになります。子どもたちが地域コーディネーターの方々のような大人と関わるのが非常に重要で、このような学びの循環を創ることが地方創生につながる教育の一つの手法になります。

このたびの講演では、これまで以上の参加のあった学校職員に向けてのメッセージも多くいただきました。廿日市がこれまで行ってきた放課後子ども教室や登下校の見守り、授業支援は大切な活動であること。加えて、学校、地域、保護者が目標と課題を共有し、今各校で取り組みつつある授業づくりを進めていくことが「社会に開かれた教育課程」の実現につながるという価値づけも事例を通して示していただきました。

業務改善プロジェクト

KAMOHIGASHI

②コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の設置

・育てたい子どもの姿や学校・家庭・地域の課題、学校が担ってきた負担や役割等を共有

地域学校協働本部(鴨東セカンドスクール)

→ 読み聞かせ、家庭科実習、放課後学習、田んぼ実習、安全パトロール、スクールガード、アサガク防犯教室、赤ちゃん登校日、通学合宿、子ども食堂、環境整備 他

地域の方が日常的に学校へ来ることで

- ・保護者・地域との信頼関係の構築
- ・生徒指導上の問題への未然防止

校内生け花

ワックスがけ

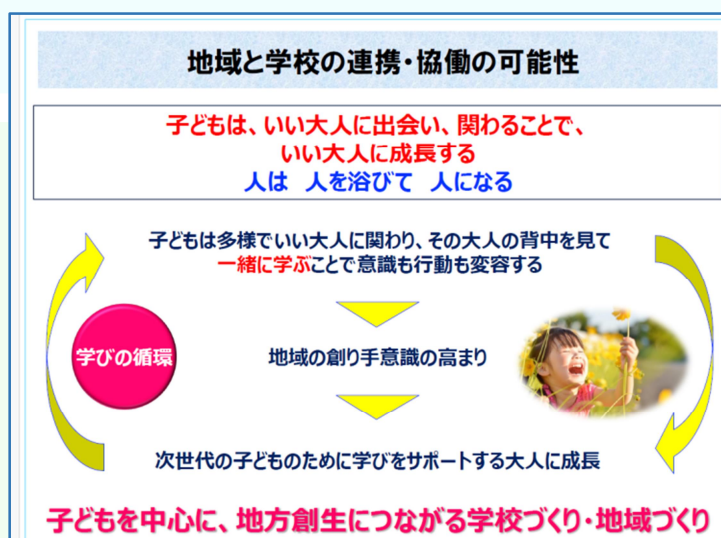
草取り

校内パトロール

アサガク防犯教室

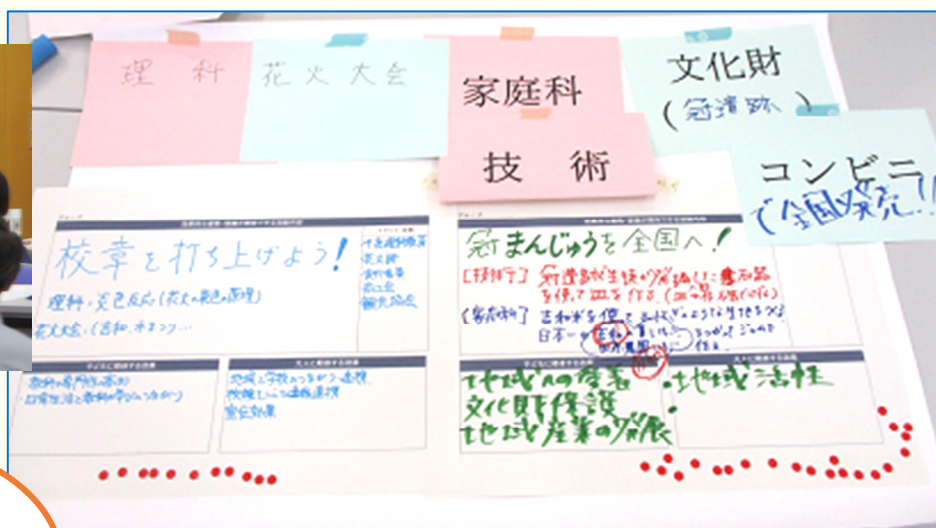
学習支援

業務の効率化 & 教育の質の向上

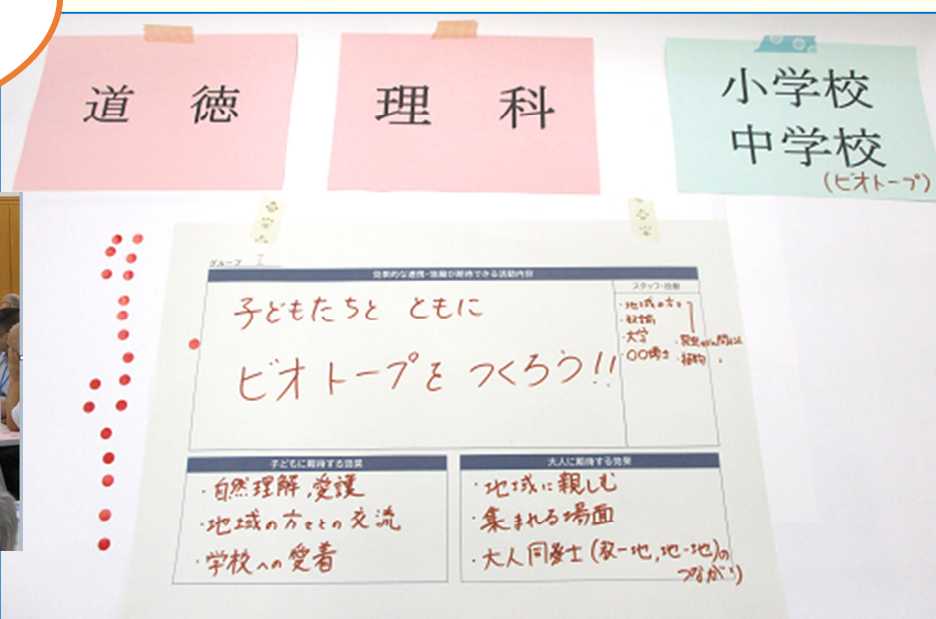


ワークショップ「わくわく地域学校協働活動を発掘！」

同じ学校区のグループで、地域の人・もの・ことを生かした教育活動を創るワークショップを行いました。既存のものを組み合わせ、ちょっと手を加えるという考え方です。それぞれのグループが地域の特性を生かした学びを考え合いました。



全体場で発表した
2グループのシート
です。



どのグループも、頭を寄せ合い、笑顔で活動を考えていました。次のような活動を考えています。

- 「プロとともに創る夢の給食」
- 「地域の祭りを子どもたちの力で盛り上げよう」
- 「菊花展をしよう」
- 「地域で子どもコンサート(のど自慢大会)」
- 「学校って楽しいな!キャンペーン」(1年スタートカリキュラム)
- 「センターまつりで子どもが考えた誰でもできる表現運動を発表! みんなで踊ろう」

「大学生と小学生の交流で阿品地区を盛り上げよう！子育てするなら阿品台」
「クラブ活動を高校生と！」 「野坂防災フェスを開こう！」
「アードギャラリーフェスティバルを開こう」 「地域にいる外国人家族と交流しよう」
「四季小太鼓クラブ(子ども)と宮園太鼓クラブ(大人)のコラボコンサート」
「地域の力で年中行事の復活を!! ～書き初め編～」 令和9年1月5日開催
「世界の名言・格言を学ぼう」→地域の方と 英語×生き方の学習を行う
「大野の歴史を調べガイドブックをつくる」「観光案内をする」

安田先生に用意していただいたワークショップを通して、アイデアの生み出し方を体験できました。共通の目標を達成するために、いろいろな立場の人が、違った経験を元にアイデアを出し合い、対話をしながら形にしていく楽しさも味わうことができました。参加者からは次のような感想がありました。

「日常思っていることをお互いに本音で話をして協働できることを探すという点と多くの方に活動を広げていくということが参考になった。(地域)」

「新しいアイデアは既存のもののアップデートから生まれるという考え方を参考にします。(地域)」

「子どもたちにとってたくさんの大人の中で育つことが大切なこと。対話によってたくさんのアイデアが出せること。本校区でも、本日のような活動を計画したいと思います。(学校)」

「学校と地域で協力し、何でも正直に話し合いながら生徒のためにできることを考えていく姿勢がとても参考になりました。(学校)」

「地域コーディネーターの方と話をする中で様々なアイデアが浮かんでくると感じました。今後CSの役割は大きくなってくると感じました。(学校)」

当日は、生涯学習課で職場体験をしていた中学生3名も在籍校のワークショップに参加し、次のような感想を持っています。

「今日の活動を通して、先生の大変さや地域の人たちとの関わり方がわかった。楽しく話すとアイデアが思い浮かぶことがわかったから班活動で生かしたい。」



この研修会以後に行われた活動調整会議や学校運営協議会で、自校のグループで考えた活動が共有され形にしていく動きも見られています。また、多くの方が感想で、この活動の楽しさと価値にふれていました。ふるさと学習や地域貢献をテーマにしている学校は、本日参加された方をファシリテーターとして熟議や校内研修を行っていただけたらと考えています。安田先生が最後に言われたように、このワークショップで用意したシート等のデータは生涯学習課にあります。問合せください。

廿日市市教育委員会生涯学習課

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目 11 番 1 号

TEL(0829)30-9203 FAX(0829)32-5163



市ホームページ